



観光庁による、地域の観光人材のインバウンド対応能力の強化研修事業

コロナ禍をきっかけとして、画期的な観光庁による事業が施行されることになりました。主要ガイド組織が通訳ガイドの救済と今後の活躍の場の拡大を要望して観光庁と面談を重ね、提案をした計画が実現した形です。全国通訳案内士がインバウンド業界者との繋がりを強め、“輝く存在”に向けての一助となることが期待されます。

＜事業目的など＞

- 1) これから積極的にインバウンドを受け入れようとする宿泊施設や、土産物店、観光案内所等の観光施設、交通機関やDMO他に外国語（今年度は英語中心）でのおもてなしに自信を持ってもらう為に研修会を開催する。
- 2) 上記の講師に全国通訳案内士を活用する。全国通訳案内士にとっては冬場などの閑散期に就業の機会が生まれることとなる。

研修で使用されるテキスト

『現場の場面に応じた英語対応（初級、中級）、数か国語の語学に自信がない場合に便利な絵入りのコミュニケーションシート、異文化への配慮、翻訳アプリの活用』で、3回にわたる制作検討会を通じて各ガイド団体の代表者や有識者が力を出し合った素晴らしい教材が用意されます。ビデオ映像教材も制作中とのこと。指導マニュアルも整い、継続して使用価値の高い貴重な教材となりそうです。

講師の養成講習会（10月末～11月末予定）

全国各地及びオンラインで開催予定の「講師養成講習会」は定員1,000名。応募者は3,000名（GICSSからは約60名）を超えました。書類選考では、地方のガイド、経験の浅いガイドが不利にならない配慮もされます。

講師認定

対面又はオンラインの講習会評定の結果、約600名が講師又は助手に認定されます。11月末から10都市で予定されるモデル研修会に派遣される他、さらに2021年からは全国50地域での事業展開も検討されています。

講師養成用の指導員研修会終了（10/5,6）

主要ガイド組織から推薦された47名が指導員としての訓練を受け、ランデル理事長が主要ガイド組織を代表して講師の役割や注意点についての解説を委ねられました。錚々たるベテランガイド達にも役立つ内容で、皆が目から鱗状態で、その後の研修にも生かされました。GICSSの研修品質の高さが再認識された形です。優秀なガイドが優秀な講師とは限らず、「おもてなしのプロ」が受講する研修会でどう指導するか課題は残ります。

ガイド組織の壁を越えて、全国の指導員通訳案内士と一緒に研鑽や交流のできた、意義ある、楽しい訓練機会でもありました。



稲田朋美自民党幹事長代行を訪問（8/6）

2020年8月6日、JGA（日本観光通訳協会）、JFG（全日本通訳案内士連盟）IJCEE（日本文化体験交流塾）、CGA（日本中国語通訳案内士協会）、KITGA（九州通訳・翻訳者・ガイド協会）各代表とGICSSランデル洋子理事長・松岡明子副理事長の7名で稲田朋美自民党幹事長代行（当時）を訪問し、現況の報告を行いました。



3～4月、国務大臣、国会議員、官公庁と各所を通訳ガイド救済の要望陳情に訪れ、稲田議員とは3月20日にお会いしました。稲田議員とのご縁は、GICSS山田展之会員が議員秘書をご紹介下さったご縁によります。持続化給付金の対象外者の拡大に関してなど、稲田議員には積極的な内閣府への声掛けを下され多大な支援を頂いてきました。

多数の全国の通訳案内士が救済されたことを報告、上記の観光庁「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」に於いて、通訳案内士の活用の道が開かれたこともご報告致しました。

稲田議員より「継続的に本研修が開催されるよう観光庁等へ働きかける」と力強いエールも頂き、一同に笑顔が広がった会見でした。

第1回 通訳案内研修(旧称:法定研修)を実施しました！

観光庁「通訳案内研修」(旧称:法定研修)をGICSSは登録研修機関として10月1日に第1回を行いました。
(詳細は次号GICSS NEWS vol.79)

本研修の受講義務付けは5年に1度でありますので、今年度内(2021年3月末)に全ての全国通訳案内士の方が受けなければならないということではありません。が、各自もう一度期限を確認され早目に受講下さることをお勧めいたします。

「観光庁研修」との違い

「登録研修機関による法定研修」は、過去2年ほど実施された「観光庁研修」とはまったく別の意味合いの、国家資格の更新の意味合いのある重要な義務研修です。義務を怠ると資格取り消しの場合もありますのでご注意ください。

プログラム内容

法定研修科目と、スキルアップ研修の2部構成で、スキルアップ研修は、開催毎にプログラムが変わる予定ですので毎年受講して、技術向上を目指すことができる仕組みです。

全国さまざまな組織が登録研修機関として通訳案内研修を実施していますが、料金もプログラム内容も様々です。GICSSの方針は、学ぶ時間を取るならばしっかりと、想定以上の収穫があるように充実した時間を過ごしていただきたいというものです。一通り聞いていれば良い…のではなく、幅広く最新の情報やスキルを学んで良い刺激となることを目指し、受講者から絶賛の声を頂いています。

初回は対面研修と、オンライン研修の2種を同時にリアルタイムで行うという画期的な試みでした。おおそ問題なく、スキルアップ研修のペア組実習も実現することができました。

【10月1日研修内容】

- ・午前: 全国通訳案内士として心得ておくべき必須内容。
旅程管理基礎、危機管理等対応
(講師: 金子潤、ランデル洋子、松岡明子)
- ・午後: スキルアップ科目(選択制)
災害発生時の適切な危機管理、コミュニケーション能力
研修(トークの秘訣ほか)、旅程管理ケーススタディ
(講師: 佐藤武論毅、福井ミッキー道孝、松岡明子)



最前列の席にはアクリル板を置き、3密を避けるため距離を取った席配置で実施

効果測定試験と修了証

法定研修科目終了直後の筆記試験は短時間で行われ、基準に達した受講者はその日のうちに修了証を手に入れました。オンライン受講者はオンライン筆記試験を受け、即座に結果がわかる仕組みです。基準以下の場合には再試験が2度まで受けられますが、初回は全員が1度でクリアする優秀さでした。

受講のタイミング

・2018年1月4日以前に登録の方

受講期限は2023年1月3日まで。以後5年以内に受講。

(例) 2017年2月登録→本年2020年に受講→次回は2025年が期限

・2018年1月4日以降に登録の方

受講期限は自身の登録年より5年以内。以後5年以内に受講。

(例) 2020年3月登録→2022年に受講→次回受講は2027年が期限



GICSSの「通訳案内研修」

所属会員のみが受講可能な機関もありますが、GICSSは会員以外に、全国の全国通訳案内士または地域通訳案内士にも機会を広げ、受講を一般受講料金にて認めています。

10月1日開催はすぐに定員に達し、多数の方にキャンセル待ち頂きました。只今、年度内の再度の開催を検討中です。

希望される方は、メーリングリストの情報をお見逃しなく！

Withコロナ時代と日本の清潔さ

「新型コロナの終息後の海外旅行はどこへ行きたいか」の意識調査で、日本が第1位に、という情報が聞かれるようになりました。その理由として「買い物」「食事」「治安のよさ」等が挙げられますが、最も高く評価されるのが「清潔さ」です。

2020年10月現在、日々公表される感染者数は低減と言えない状況ですが、世界的にみて日本の感染の広がりや死亡率は低くあります。「ファクターX」は解明されていませんが、清潔さ、衛生観念が関わっているであろうことは賛同が得られることと思います。

以前より「日本の清潔さに驚き」「お店(レストラン他)のトイレがバツグンきれい」「教室の掃除は児童生徒が行う?!」「外食のとき食べ散らかさないのね」etc. 海外の方より、わたし達にとって当たり前のことに感嘆を頂戴してきました。しかしながら、清潔感へのこだわりは日本人が共有しているものであり、背伸びをしてそう振舞っている訳ではないですね。

withコロナの今&これから「当然です」とし、更なる徹底を示すことがお客様の信頼につながります。改めて日本の美德に誇りを持ち、その心を次にインバウンドのお客様を迎えるときまで保ってきたいものです。



全 体		
1位	日本	45.6%
2位	韓国	21.9%
3位	台湾	17.0%
4位	オーストラリア	16.3%
5位	タイ	16.3%
6位	シンガポール	15.0%
7位	ニュージーランド	14.6%
8位	アメリカ	14.1%
9位	スイス	12.1%
10位	イギリス	12.0%

回答は当てはまるもの全て

出典: DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査

<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/c0d4d3b408ddf18c8c9dc8ca2fdccdd9.pdf>

アジア・欧米豪12地域の海外旅行経験者6,266人を対象としたインターネットによるアンケート調査 2020年6月2日～6月12日実施

オンライン「Ian塾」がスタートしました！

長年の各種英語の資格試験対策やガイド育成に定評あるIan Priestly氏によるガイディング英語指導「Ian's Workshop」をグレードアップした、「Ian塾」が9月よりスタートしました。GICSS初の2ヶ月集中講座です。

【研修の特徴】

- 1 期間 4レッスンで1ターム(2ヶ月)
- 2 内容 事前に提示されるテーマ・課題に沿ったプレゼンをクラスで行い、文法、発音、言い回し等についてアドバイスを受ける
- 3 目的 日本的事象の英語表現や、簡潔、丁寧、わかりやすい表現を習得する
- 4 人数 1クラス6名

【テーマ;第1期(2020年9月・10月)】

- 第1回:歴史 History
第2回:建築・建築物 Architecture/ Buildings
第3回:スポーツ Sports
第4回:自然美・景勝地 Areas of natural beauty

受講生は1週間前に届けられるワークシートを参考にプレゼンを準備しますが、この時Ian先生自身による参考デモ動画も視聴できますので、モチベーションが上がること必至です。

2ヶ月間4回続ける中で個々人に合ったきめ細かい指導が受けられます。先行き不透明な中、通訳ガイドである事を実感できる楽しく、且つ、ガイドスキル向上間違いなしの充実のプログラムとなっています。(スタッフ:黒田昌代)



【クラスの様子】

前半:各受講生がプレゼンを披露し、それを基に適切な語彙、文法、表現などを指導(Zoomのチャット機能を使用)します。ベテランネイティブ講師ならではの、辞書やネットには載っていない情報が満載です。

後半:各回のテーマに基づいて、外国人ゲストがガイドに尋ねそうな質問(事前課題のワークシートから)に受講生が答えます。まるでツアーの一場面のような実践的なアウトプットの場合です。



オンライン座学C.C.



■ 7/5 「ポップカルチャー」

ポップカルチャーは非常に幅が広く様々な場面で使うことができる一方、その多様性ゆえに使う場面や選別が難しいという、ある意味諸刃の剣の様なトピックです。

今回のC.C.ではポップカルチャーの中のアニメ、マンガ、ゲームなどを中心に行いました。最近話題の鬼滅の刃を始めベイビーメタルなどの音楽など様々な話題ができました。ポップカルチャーはその多様性の為伝える際は大きなトピックから小さくしていくと伝えやすいと思います。(ナビゲーター:福田 誠)

■ 7/15 「コンビニ」

コンビニは余りに身近なため、今回の参加を遠慮された方も多かったのではと思いますが、実は日本の素晴らしさを伝えるには最適なテーマです。特にヒット商品の舞台裏を探ると、毎年7割の商品が入れ替わるという厳しい競争の中、日本人の工夫にあふれた話題がたくさん出てきます。

収穫できた話題は今後のお仕事に役立てばと願っています。(ナビゲーター:下岡知行)

■ 9/9 「東北・震災復興」

東北は、コロナ禍以前インバウンド事業の最盛期でさえ、2%の訪日観光客しか訪れない土地でしたから「東北・復興」というテーマに定員満杯の参加を頂いたことにとても驚きました。

さらに参加会員さんの東北愛が半端なく、2分のプレゼンにはとても収まらない情報を様々に工夫して発表下さり、Zoomの中とは思えない盛り上がり、もっと自信を持って東北を発信しなくてはと背中を押された2時間でした。

(ナビゲーター:高橋みち子)

■ 9/17 「子育て」

今回6名の子育て経験者の参加を頂きました。経験に基づいたプレゼンは多岐に渡りました。欧米との子育ての違い、躾、大変だけど素晴らしい等。意見交換では、お子さんのいらっしゃるお客様にはどのような説明ができるのか、また本題から派生して、ジェネラルトピックスになりそうな話題をたくさん見つけることができ、充実した2時間でした。

—今回、男性の参加者が皆無だったのは、日本の子育て事情を象徴しているのでしょうか？(ナビゲーター:吉崎圭子)

■ 9/28 「和食の素晴らしさ第2弾〜パンチラインを決めてみよう!」

お客様が聞き耳を立てガイドに親近感を持っていただく、なによりも笑顔を引き出すのに効果的、と思われる要素の1つにパンチライン(punch line)があります。漫才やコントのオチ、聞かせどころという意味で、決め方でガイドの個性が光ります。C.C.は2分間で話を纏めるという至難の業に挑戦するアウトプットの場合ですが、一番伝えたいことを簡潔にまとめ、オチをつける、という、かなり難解な課題を今回はあえて設定しました。

和食の素晴らしさは、バランスの良さ、出汁のうまみ、嗅覚も美味しさを倍増させるなど、話題は様々でしたが、終わり方や盛り上げポイントを意識してよりハードルの高いトークを披露してくださった皆様、ありがとうございました。(ナビゲーター:松岡明子)



Ian's Workshop オンライン (7/21・28)

3月の延期から満を持して7月開催を受講しました。前半は、お客様から好まれるガイドとしてのattitudeについて、次に様々な質問に対する答え方の模範例について、discussionを通して学びました。

後半は、先生が日本の事をほとんど知らない観光客を演じて投げ掛ける「素朴な疑問」的な質問に対して端的に答えるというものでした。私への質問は、街中の道路脇で見掛けの小さな石像は何? 何で赤い布を掛けているの? でした。汗を掻き掻き何とか答えられたと思いますが、確かに実際のガイディングの場面では充分想定出来る質問ですね。

この様に、Ian先生のレッスンは単に正しい英語を学ぶだけではなく、実戦に即した、生きた英語を学ぶ機会になりました。

(レポート:溝口 誠)

当検定の勉強会に講師として参加させて頂きましたので、その所感を述べさせて頂きます。担当は主に二条城。参加者の方は指定されたポイントを日本語で発表され、その後2名の講師(松岡先生と小生)がコメントと追加情報を提供する形で進めました。最後は短時間ですが、英語でプレゼンされました。

当初、Zoomの勉強会が上手く機能するか、期待と不安が交錯しましたが、機能面では大きな問題は無し。“共有”の機能を使用し写真/地図を画面に映し、ポインターで示す事で、発表者の方は実際に現場で説明する感覚を持たれた事と思います。face to faceの場合と比べ、マイナス面は見当たらず、寧ろ、Zoomの利便性(画面の切替が瞬時、“chat”でQ&Aが出来る、“mute”機能が便利等)が十分に発揮出来ました。

ZoomでのC.C.から始まり、GICSS検定まで、**関係者**各位の粉骨砕身のご努力に依り、長足の進歩を遂げたと、感動しました。参加の皆様には、京都でのガイディングでは、今回磨かれた技を存分に披露される事を願っております。(勉強会講師:福井ミッキー)



新カテゴリー“専門講座”を創設！「通訳ガイドアカデミア」

ガイドの現場でゲストから想定外の質問が飛んできて答えに窮したり、下見やスクリプトの準備にネットや文献リサーチで情報を収集しても、なかなか知識・情報が一つにつながらなかったという経験、きっとあると思います。ガイディングの背景にあるより深い、専門的な知識の必要性を強く感じるのではないのでしょうか。

通訳ガイドアカデミアではこのようなニーズにこたえるべく、新たに「専門講座」というカテゴリーを創設しました。各分野の専門家を講師にお招きし、歴史、文化、宗教、安全管理等々、ガイドに求められるより高度で専門的な知識の習得に役立つコンテンツを配信して参ります。点と点であった知識・情報が一つの体系的なものに変わってゆく「目から鱗が！」の実感間違いなしです。



第1弾は、一般社団法人日本庭園協会会長 高橋康夫氏による「日本庭園 ～その歴史と美の世界～」を9月、10月の2回にわたって配信の予定です。日本庭園はかねてより皆様から研修の要望が高いテーマですが、通訳ガイドアカデミアでは斯界の権威による最高レベルでお届けします。いつでも、どこでも、何度でも学べるe-ラーニングのメリットを最大限に活用して、日本が世界に誇る日本庭園の歴史や特徴の専門的な知識を身につけ、その価値をゲストに伝えられるようになって頂ければと思います。(通訳ガイドアカデミア運営委員: 山崎正美・亀田秀実)

【第1回プログラム】

はじめに/庭園という言葉/庭の原型/神殿造庭園/浄土庭園/枯山水庭園/書院造庭園/路地・茶庭(無料視聴有り)/池泉回遊式庭園(1)/池泉回遊式庭園(2)/近代の庭

詳しくはGICSS事務局 adm@gicss.org へお尋ね下さい。

GICSSのホームページでも紹介しています。合わせてご覧ください。 <http://gicss.org/ja/programs/academia.php>

GICSS会員がつなく、リレーエッセイ

リレー-ESSAY

53

そこへ新型コロナウイルス感染拡大で活動もその影響で3月下旬から活動停止となり、アウトプットの機会が無くなり、自粛期間も色々楽しみをつけ、無意識下で次第に意気消沈していきましました。

染拡大で活動もその影響で3月下旬から活動停止となり、アウトプットの機会が無くなり、自粛期間も色々楽しみをつけ、無意識下で次第に意気消沈していきましました。

昨年前進出来なかった理由は、研修等でお会いする諸先輩方の素晴らしさに圧倒されてしまったこと。最初からそこに達する必要な無かったのに、自信喪失のスパイラルにはまり、そのうちに通訳案内士をめざそうと思ったときの高揚感自体を忘れて、賢いげに頭で考える「ねば・べき」で自分にプレッシャーをかけていました。

「見逃し三振より、空振り三振」 TOKYO 2020の今年こそデビューを、と思っていた新年に通訳案内士の先輩方からいただいた励みです。ハッとすると同時に肩の力がふっと抜きました。見逃し三振でもいいから、とりあえずバッターボックスに立つてみよう。あわよくば空振り三振してみよう、と。

本場に「暑さ寒さも彼岸まで」でした。自宅時間が長かった今年の猛暑は堪えませんでした。今年2月入会の新入会員戸枝明美と申します。合格同期の西静さんからの誘いが嬉しく、バトンを受け取りましたが、後から迷いが生じました。と申しますのも、大西さんと同じく2019年2月に試験に合格したものの②プロデビュー前の「全国通訳案内士の卵」なので

戸枝明美(東京都)

会員の皆様 こんにちは！



ふとボランティアガイドを始めた頃のワクワク感を思い出しました。「大好きな日本を海外の方に紹介したい」。自分には日本の何が大好きなのか、日本の何をどのようにご案内したいのか、そんなことに目を向けて深く秋を愉しみたいと思います。

気持ちは切り替えるサポートになったのが、色々な方面で展開されたオンラインのイベントです。ピンときたらとにかく参加、とGICSSの企画もお試し会Zoomからお邪魔して、ランデル先生・松岡先生はじめ沢山の会員の皆さまとマスク無しにお会いできたことで元気が湧き、人となりが違っていいなと実感しました。

チャレンジジャー・サークルのオンライン開催には感謝しています。初参加は「富士山」でした。参加者によってかくも多様な視点から描かれるのだな、と感じ入りました。オンラインの強みである①どこからでも参加可能、②緊張のバが少し下がる、③フレンドリーな参加費、つもりで参加しています。「京都」「茶道」「コンビニ」「東北・震災復興」、毎回ナビゲーターと参加者の皆さまのパフォーマンスに魅了されつつ学びを得ています。しばらく遠ざかっていた通訳ガイドアカデミアも気軽に鑑賞してみようと思います。

☆次回のリレーエッセイもお楽しみに！～会員のご活躍ぶりをご紹介下さい。珍事件、感動秘話、ためになる話…なんでも結構です！

研修名・日程・会場等	チェックポイント
オンライン 座学C.C.「日本のまつり」 10月16日(金)13:30-15:30 ナビゲーター:川畑一美	発生も込められた思いも様々な「まつり」。焼きモロコシ、金魚すくい、山車...好きなものを語るとお客様にビシビシ伝わるものです。熱い思いのガイディングにチャレンジです！
オンライン 映像制作手ほどきセミナー 【受付終了】 10月24日(土)13:30-15:30 プレゼンター:堀江薫	リアルが無理ならバーチャルでツアー開催！でも何をどうしたら自分でもできるの？機材の揃え方から動画のアップの手順まで、コンパクトにレクチャーします。
オンライン 座学C.C.「相撲」 10月30日(金)13:30-15:30 ナビゲーター:南 守	大相撲観戦ツアーに参加される外国からのお客様が多くなっています。初めて相撲を観るお客様はどんなところに楽しさを感じる？お客様はどんなことが疑問？楽しく相撲談義しながら引き出しを増やしましょう。
オンライン Ian塾 第2期【受付終了】 11月10日・24日、12月15日・22日 いずれも(火) 日中/14:00-16:00、夜間/19:00-21:00 講師:Ian Priestly	ガイディング英語力徹底磨きあげコース。募集即日満席の好評を受けて第2期を開講します。日中と夜間の2コース設定でより受講し易くなりました。2ヶ月集中して実力アップ！
オンライン 座学C.C.「日本の住まい・暮らし」 11月14日(土)13:30-15:30 ナビゲーター:数玲子	「玄関では靴を脱いでスリッパを履いて下さい」とお伝えすると「Oh!」というお客様はまだ大勢いらっしゃいます。私たちには当たり前でもお客様には新鮮に映る身近な1コマを、切り取りプレゼンしましょう。
オンライン 研修 現代建築 11月26日(木) 講師:三村大介(建築家)	神社仏閣だけではない！日本は現代建築も素晴らしいのです。その魅力の見方、伝え方を第一線の講師よりオンラインで学びます。
その他、オンライン開催を続々準備中！状況により現場実習も開催したく常に検討しています。 最新情報は今後のメーリングリスト、ホームページでご確認下さい。	

通訳案内士賠償保険 新規加入・更新の受付を開始

昨2019年11月スタートの「通訳案内士賠償保険」の更新、新規加入の受け付けを開始致します。

【補償内容】

- ・通訳案内業務中の事故補償: (例) 通訳案内中に、お客様にぶつかりケガをさせてしまい治療費を請求された。食品情報を誤って伝えお客様がアレルギーを発症。治療費、損害賠償を求められた。
- ・受託物管理に伴う事故補償: (例) 預かったお客様の手荷物が盗難にあった。お客様の携帯電話を誤って落としてしまい、壊してしまった。
- ・訴訟対応費用: 裁判になってしまった場合に生じる、応訴のために必要となる経費。(再現実験費、意見書、鑑定書作成費等)
- ・初期対応費用: (例) 事故が発生した際に、負担する事故現場の保存・写真撮影費用、通信費等の初期対応費用

【保険期間】

1年間(2020年11月1日午後4時～
2021年11月1日午後4時)

【年間保険料】

2,380円

今年は新型コロナウィルスで世の中変貌の年となりましたが、2021年春にはインバウンドも再開となり、外国人旅行者のご案内でガイドが活躍する場面が期待されています。いざという時に慌てずに安心して業務に臨むためにも、加入をお勧めいたします。ご案内メーリングリストも合わせてご覧いただき、お問合せは adm@gicss.org までお願い致します。

＝編集後記＝

- コロナ禍中のGo To、政権の交代影響など様々に気になることが多いこの秋。観光庁初の通訳ガイド活用事業も展開が注目されます。でもどんな時も自然は変わらず、Go Toで秋食材の変わらぬ美味で微笑みたくものです。(よ)
- オンライン研修やZoomミーティングなど、気がつけばITの恩恵を享受して既に半年以上が経ち、ペットの乱入、突然の訪問者のピンポン、そして、画面上の自らの姿にも慣れて表情の癖もわかりました。そんな変化を楽しむ余裕を持ちたいのですが、現実には毎回どきどき、わなわな、しかし、どうにかなるさ～と行きましょう。(ま)
- 10/1通訳案内研修の会場では、一部オンライン中継カメラマンを担当させて頂きました。スマホをカメラとして抱えて中腰の体勢は、運動不足の身にはキツかったです。(か)